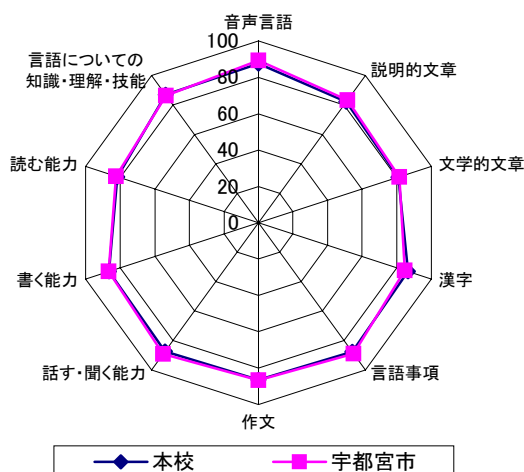


宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	87.5	89.3
	説明的文章	82.3	83.3
	文学的文章	81.0	81.6
	漢字	86.5	84.7
	言語事項	87.8	88.9
	作文	86.5	86.6
観点別	話す・聞く能力	87.5	89.3
	書く能力	86.5	86.6
	読む能力	81.7	82.4
	言語についての知識・理解・技能	87.0	86.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (87.5%)	平均正答率は、本年度87.5%で、市全体の正答率89.3%と比べてもほぼ同程度である。話し合いの流れに沿って自分の意見を記述することはできたが、話し方の工夫や発言に仕方の聞き取りが難しかった。	日常的に「話す・聞く」活動を取り入れ、話の要点の聞き取り方や、まとめ方等を指導する。総合や国語などでインタビューするときなど、話の内容をメモしながら聞くことにより、正確に聞く能力を高め話の内容が理解できるように練習していきたい。一分間スピーチなどの場で話すことも練習していく。
説明的文章 (82.3%)	平均正答率は、本年度82.3%で、市全体の正答率83.3%と比べてもほぼ同程度である。文脈に即した内容の理解ができるが、文章全体の内容理解ができなかった。また、段落と段落の関係を読み取ることが苦手である。	段落ごとに要点をまとめる練習をしていきたい。また、段落相互の関係や接続語の意味にも注意して内容をとらえられるようにしていきたい。段落相互の関係から文章全体の構成を理解できるように指導していく。
文学的文章 (81.0%)	平均正答率は、本年度81.0%で、市全体の正答率81.6%と比べて同程度である。登場人物の心情を読み取り、選択したり記述したりすることができた。登場人物の様子を読み取ることがやや苦手である。語句補充問題はできた問題とできなかった問題とで差があった。	読書活動を通して、文学的文章により親しませていく。また、物語教材では、引き続き登場人物の心情や場面の様子、主題の捉え方について十分指導するとともに、主語・述語の関係を抑えながら読み取らせていきたい。また、読み取りの際には、辞書を活用しながら語句の意味理解にも努める。
漢字 (86.5%)	平均正答率は、本年度86.5%で市全体の正答率84.7%比べやや上回っている。平均は上回っているが、5年の漢字の書きの正確さに欠けている。	漢字練習をしたり繰り返しミニテストで確認したりして書く能力を高めたい。これから今まで習った漢字の総まとめを行ってほしい。また、ノートや作文、日記、手紙等、日頃から文章の中で適切に使うことを意識させる。
言語事項 (87.8%)	平均正答率は、本年度87.8%で市全体の正答率88.9%とほぼ同程度である。敬語の使い方はよくできていたが、同訓漢字の使い分けやことわざが苦手である。	普段の生活の中でも、積極的に辞典を活用することで、同訓漢字の使い分けを学ばせる。また、授業の中でも積極的に扱うようにし、学習の幅を広げるようにする。敬語については、引き続き普段の会話の中で正しい使い方をしよう意識させたい。
作文 (86.5%)	平均正答率は、本年度86.5%で市全体の正答率91.5%と比べると下回っている。始めのあいさつ、依頼の言葉と本文、終わりのあいさつは市の平均を上回るか同程度できていたが、後付けを入れて書くことができなかった。	今後も書くであろう感謝の手紙、招待状など、それぞれのテーマに合った文章が書けるよう指導をしていきたい。いろいろな手紙文の条件を確認しながら、初めのあいさつ・本文・終わりのあいさつ・後付けの形で書かせ学習の補充をしていく。